

平成30年度 自己評価書

学校名	和歌山市立四箇郷北小学校
校長氏名	古田 清和
作成日	平成31年3月15日

1 教育目標

心身ともに健康で、豊かな知性と人間性を備えたたくましい子どもを育てる

2 本年度の取組についての評価

	確かな学力の向上	豊かな心の育成	地域とともにある学校
重点目標 【P】	<ul style="list-style-type: none"> ◎基礎・基本の確かな定着 ◎子供主体の授業の推進 ○家庭学習の定着 ○読書活動の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ◎基本的な生活習慣の定着 ◎いじめの未然防止、早期発見 ○道徳・人権教育の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ◎家庭・地域との連携充実 ◎地域の資源活用の推進 ○中学校区における学校間の連携
取組の状況【D】	<ul style="list-style-type: none"> ○理科学習の研究を軸に、子供が主体の授業づくりを推進する。 ○チャレンジタイム（帯学習）、放課後の補充学習を行い基礎学力の向上を進める。 ○発達の段階に応じた家庭学習の手引きを作成し、活用するとともに、自主学習ノートに取り組み、家庭と連携しながら基礎学力の定着と自ら学ぶ習慣を身に付けさせる。 ○和犬教職大学院との連携やきのくに学力定着フォローアップ事業を有効に活用し、教員の授業力向上を推進する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○清掃活動（もくもくそうじ）、挨拶運動（にこにこあいさつ）、読書活動（どくどくどくしよ）の充実を柱として生活習慣を支援する ○いじめアンケートを各学期ごとに実施し、いじめの未然防止・早期発見・早期対応に努める ○児童会での縦割り班活動、学年集会、学級会等に、自主的・自律的な活動を多く取り入れる 	<ul style="list-style-type: none"> ○各種便り、HP等を通して積極的に学校の情報を発信するとともに、授業や行事等を積極的に公開する ○開校40周年記念行事を開催し、地域について学び、地域と積極的な交流をし、故郷について学ぶ ○中学校区での小中、小中の連携を推進・充実する ○授業のゲストティーチャー、読み聞かせボランティア、ふれあい教室等の人材や、地域の自然・文化を積極的に活用する
評価結果【C】 取組の成果と課題	<ul style="list-style-type: none"> ○11月9日に和歌山県科学教育研究大会で理科・生活科の授業発表を行う。発表に向けて、校内での協議会や市内小学校から協力者を招き研究協議を何度も行った。このことが、本校教員の授業力向上につながっている。 ○NIE実践では、日本新聞協会が主催する第9回「いっしょに読もう！新聞コンクール」に4年生以上の全児童が作品を出品、「学校奨励賞」を受賞した。 ○和犬教職大学院と連携して年間9回、きのくに学力定着フォローアップ事業で年間14回の研究授業及び授業指導を実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> ○学校だよりや集会等で挨拶の大切さを訴えたり、地域の方々に協力いただいで挨拶活動を行ったりしたこともあり、多少元気な挨拶の声が聞こえるようになった。 ○学校をあげて掃除時間中は私語を禁じ、無言で清掃活動に励むという「もくもくそうじ」に取り組んだ。多くの児童が掃除に真面目に取り組んでいる。 ○たてわり活動（北っこパワフルデー、たてわりふれあい給食、たてわりレクリエーション）という異学年集団での活動を通して、相手の立場を考えたり思いやったりすることで、温かい人間関係を育てることに繋がっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○学校だよりには、できるだけ学校や各学年の取組を載せるようにした。しかし、学校ホームページはなかなか更新することができなかった。 ○地域の皆さんと共に活動する「40周年記念集会」「シルバー交流会」「ありがとう集会」で、地域の方々の交流ができ、地域の方や児童も交流を喜んでいた。地域の大人の方との交流を通して、地域との結びつきが強くなったように感じる。 ○地域先達による協働・連携事業の「ふれあい教室」を毎月2回実施していただき、児童の居場所づくりや学校教育力向上に効果がある。
改善方法【A】 次年度に向けての	<ul style="list-style-type: none"> ○楽しくて力がつく授業づくりに向けた研究の成果を発表会で提案する。 ○家庭との連携を深め、家庭での自主学習や読書活動の一層の充実を図る。 ○読書タイムやNIE実践の継続と授業の積み重ねにより、て「ことばの力」の育成に努める。 ○チャレンジタイム（帯時間）の活用方法をより工夫し、基礎学力の定着や書く力の向上に取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> ○3つの言葉をキャッチフレーズに子どもたちの「ゆたかな心」育成に取り組むたい。 ①「にこにこあいさつ」（挨拶活動） ②「もくもくそうじ」（清掃活動） ③「どくどくどくしよ」（読書活動） ○異学年集団での活動（たてわり活動）を通して、相手の立場を考えたり思いやったりすることで、温かい人間関係を育てる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ホームページを更新頻度を増やす。○学校だよりを回覧板に入れていただける地区を増やしていけるようする。 ○民生委員の方々に協力いただいた「地域先達事業」は地域との協働・連携と言う点で大変効果のある取組である。次年度もぜひ続けて頂くようお願いする。 ○次年度もたくさんのゲストティーチャーを招き、子ども達の世界を広げていきたいと考えている。

3 その他の課題

--